

第 66 回全国教育系大学陸上競技大会 競技注意事項

1. 規則について

本大会は 2026 年度日本陸上競技連盟競技規則(以下、競技規則という)および競技会における広告および展示物に関する規程、本大会競技注意事項および申し合わせ事項に基づいて実施する。

2. 招集について

(1)招集所は、正面玄関横に設置する。

(2)招集は、以下の手順で行う。

- ① 招集開始時刻になり次第、招集所において、競技者のシューズ、スパイク、アスリートビブス、商標について確認する。商標に関しては、「競技会における広告および展示物に関する規程」および「3. 競技場内で着用できる衣類と競技場に持ち込める物品について」に従い、確認を行う。

(招集開始および終了時刻は全て招集所に設置する時計の時刻を基準とする。)

② スタート場所または競技場所において、最終コールを行う。

(3)代理人による招集は認めない。他の種目と招集時刻および競技時間が重複する場合は、招集所に重複出場届(招集所で配付)を提出すること。

(4)リレーのオーダーについては、オーダー用紙(TIC:陸上競技場玄関ホール付近で配付)を招集所とTICに提出すること。提出締切は招集完了時刻とし、提出が遅れた場合は出場を認めない。これ以降のメンバーおよびオーダーの変更は、競技者の発病・負傷等によるものに限り、さらに主催者の任命した医務員の判断がない限り認められない。また、招集開始時刻になり次第、順次メンバー全員で招集を受けること。

(5)招集完了時刻に遅れた場合は、出場を認めないので十分に注意すること。

(6)原則的な招集開始時刻と招集完了時刻は、以下のよう¹⁾に定めることとする。種目ごとの招集開始時刻と招集完了時刻は、「競技日程」を確認すること。

	トラック種目	フィールド種目
招集開始時刻	競技開始 30分前	競技開始 60分前
招集完了時刻	競技開始 20分前	競技開始 50分前

3. 競技場内で着用できる衣類と競技場に持ち込める物品について

「競技会における広告および展示物に関する規程」により、競技者が競技場内で着用する衣類等に表示できる製造会社名/ロゴ、スポンサー名/ロゴの数と大きさについては、以下の通りである。事前に確認しておくこと。違反となる場合には、テープ等でマスキングを行う。

(1)アスリートキット

- ① 競技用の衣類(トップス、ベスト、パンツ、レギンス等)、ウォームアップ用の衣類、セレモニーキット(トラックスーツ、Tシャツ、スウェットシャツ、スウェットパンツ、レインジャケット)

- ・ 製造会社名/ロゴ 上衣、下衣1つずつ 大きさ40cm²以内、高さ5cm以内
- ・ スポンサー名/ロゴ 上衣、下衣1つずつ 大きさ40cm²以内、高さ5cm以内
ただし、上下全く同一のものでなければならない
- ・ 所属団体名/ロゴ 上衣は前後に1つずつ、下衣は1つのみ
上衣後ろは高さ4cm以内、他は5cm以内 それぞれ長さは問わない
- ・ 学校名/ロゴ 上衣は前後に1つずつ、下衣は1つのみ 大きさは問わない

- ② 競技中に競技者が着用するその他のアパレル(靴下、ヘッドギア、帽子、ヘッドバンド、手袋、メガネ、サングラス、リストバンド、前腕バンド等)

- ・ 製造会社名/ロゴ 1つのアパレルにつき1つ 大きさ6cm²以内、高さ3cm以内

- ・ 所属団体名/ロゴ 1つのアパレルにつき1つ 大きさ6cm²以内
- ・ 都道府県名/ロゴ、学校名/ロゴ 大きさは問わない

(2)個人の所有物およびアクセサリー

①タオル

- ・ 製造会社名/ロゴ タオル1枚につき1つ 大きさ40cm²以内、高さ5cm以内
- ・ スポンサー名/ロゴ タオル1枚につき2つ 大きさ40cm²以内、高さ5cm以内
- ・ 競技者名/競技者個人のソーシャルメディアのハッシュタグ 数と大きさは問わない。

②バッグ

- ・ 製造会社名/ロゴ 数は問わない 大きさ40cm²以内、高さ5cm以内
- ・ スポンサー名/ロゴ 1つのバッグにつき1つ 大きさ40cm²以内、高さ5cm以内
- ・ 競技者名/競技者個人のソーシャルメディアのハッシュタグ 数と大きさは問わない
※スポンサー名/ロゴのうち1つを、以下に変更できる
- ・ 所属団体名/ロゴ 1つ 高さ5cm以内 長さは問わない
- ・ 学校名/ロゴ 1つ 大きさは問わない

③飲料ボトル

- ・ スポンサー名/ロゴ 1つの飲料ボトルにつき2つ 大きさ40cm²以内、高さ5cm以内
※ペットボトルを持ち込む場合は、ラベルをはがすこと

4. 靴底の厚さに関する規定について

本大会では、競技規則 TR 5.2に基づき、以下に示す規定を満たしていない競技用靴を着用する競技者の出場を認めない(レース後に規定違反が発覚した場合は、当該選手を失格とする。)。

種目	靴底の最大の厚さ	補足
800m 未満のトラック種目 (ハードル種目を含む)	20mm	リレーにおいては、各走者が走る距離に応じて適用する。
800m 以上のトラック種目 (障害物競走を含む)	20mm	リレーにおいては、各走者が走る距離に応じて適用する。
フィールド種目(三段跳を除く)	20mm	すべての投てき種目、高さの跳躍、および三段跳を除く長さの跳躍種目に適用する。すべてのフィールド種目において、靴の前の部分の中心点の靴底の厚さは、かかとの中心点の靴底の厚さを超えてはならない。
三段跳	20mm	靴の前の部分の中心点の靴底の厚さは、かかとの中心点の靴底の厚さを超えてはならない。

5. 欠場について

大会の運営を円滑に進めるため、競技者は欠場を極力避けること。やむを得ず欠場となる場合は、以下の要領で申し出ること。

- (1) 7月28日(火)までに欠場となることが決まっている場合は、事前に各大学に送付した欠場届を、7月28日(火) 23:59までに、メールに添付して送信すること(E-mail: utef.tandf@gmail.com 担当:塚本)。
- (2) 7月29日(水)以降に欠場となることが決まった場合には、大会当日、欠場届(TICで配付)に必要事項を記入して、招集所(正面玄関横)とTIC(陸上競技場玄関ホール付近)の2カ所に提出し、承認を得ること。なお、この手続きを行えば、その競技者はそれ以降の競技に出場できる。

6. アスリートビブスと腰ナンバーカードについて

- (1)アスリートビブスは、各大学で準備し、2026年度の登録番号が書かれているものを使用すること。
- (2)アスリートビブスは、ユニフォームの胸と背に確実につけること。ただし、跳躍競技に出場する競技者は、胸・背のいずれかにつければよい。また、アスリートビブスの折曲げは禁止する。
- (3)トラック競技では写真判定装置を使用するため、競技者は、招集所で配付される腰ナンバーカードを右腰やや後方に数字が見えるようにつけること。このとき、競技中に外れることがないよう確実につけるようにすること。また、4×400mリレーについては両腰につけること。
- (4)1500mでは、布製の腰ナンバーカードを使用するため、フィニッシュ後に返却すること。それ以外の種目では、使い捨てのものを使用するため、フィニッシュ後に返却する必要はない。 ※競技規則TR 5.7～5.11を参照すること。

7. 競技の番組編成について

トラック競技は、すべてタイムレース決勝とし、その組み合わせについては、出場資格記録の良い者から順に編成する。

8. トラック競技について

- (1)短距離種目では、競技者の安全のため、フィニッシュ後も自分のレーンを走ること。
- (2)リレー種目については、以下の通りとする。
 - ①リレー・チームのメンバーは、本大会のリレー種目または他の種目に申し込んでいる競技者であれば、誰でも出場することができる。ただし、少なくとも2名は当該種目に申し込んだ競技者でなければならない
 - ②当該種目に申し込んだ競技者は、同一大学内で編成された他のリレー・チームのメンバーとして出場することはできない。
 - ③各大学において、同一のユニフォームを着用すること。ただし、デザインが同じものを着用すれば、スパッツとランニングパンツの区別は設けない。
 - ④4×100mリレーでは、各大学で用意したマーカーを使用すること。ただし、各自で用意するマーカーを使用する際は、競技規則TR 24.4の大きさに関する規定に従うこと。

9. フィールド競技について

- (1)跳躍種目のバーの上げ方は、原則として以下の通りとする。ただし、練習のバーの高さについては、あくまでも目安である。また、同成績の場合は、競技規則TR 26.8を適用する。

種目・種別		練習	バーの上げ方
走高跳	男子	1m70、2m00	1m75-（5cm刻み）-1m95-（3cm刻み）
	女子	1m30、1m50	1m35-（5cm刻み）-1m55-（3cm刻み）

- (2)走高跳の練習の高さは、大会当日、競技者と競技役員の協議により設定する。また、悪天候等の不測の事態が発生した場合は、総務、審判長による協議により、設定の高さを変更して競技を行う場合がある。
- (3)走高跳においては、事前に自らの試技の際の不在を申告した場合でも無効試技扱いとならず、パス扱いとする。
- (4)試技時間は以下の通りとする。試技時間を超えた場合、競技規則TR 25.18で規定されている場合を除き、無効試技として記録する。

残っている競技者数	走高跳	その他
4人以上*	1分	1分
2～3人	1分30秒	1分
1人	3分	—
連続試技**	2分	2分

- (5)走幅跳は、男女同時進行とし、2ピットで競技を行う。
- (6)三段跳は、男子同時進行とし、2ピットで競技を行い、男子は踏切線と砂場の近い方の端の距離を11m、女子は踏切線と砂場の近い方の端の距離を10mに設定する。
- (7)跳躍種目や投てき種目の公式練習については、競技役員の指示に従い、競技開始前に行くこと。
- (8)フィールド競技において、競技者は、トラック・フィールド外にいるコーチや監督等の競技者以外の者とコミュニケーションをとることができる。ただし、競技者以外の者による声かけは、メインスタンド、サイドスタンドおよびバックスタンドに設置しているコーチングエリアからのみ認める。それ以外の場所からの声かけは禁止する。コーチングエリアの場所や使用方法については、「申し合わせ事項」を確認すること。

11. 用器具について

- (1)競技に使用する用器具は競技場にあるものを使用する。ただし、やり、砲丸、円盤については、検定を受けて合格すれば、1種目につき1人2個まで個人のもを持ち込んで使用してもよい。ただし、持ち込んだ用器具は、希望がある場合、持ち主以外の競技者に使用させなければならない。また、使用に際して破損等の事故が発生した場合は、当該使用者が責任を負うものとし、主催者側は責任を負わない。
- (2)上記(1)における、個人の砲丸、円盤、やりの検定は、大会当日の 8:00～10:00 に、第 4 コーナー付近の用器具庫内で行う。

12. 対校得点および表彰について

- (1)得点方法は、各種目とも1位8点、2位7点、3位6点、4位5点、5位4点、6位3点、7位2点、8位1点とする。競技者が8名に満たない種目についても、同様の得点方法とする。
- (2)大学ごとに、所属する選手(オープン参加選手を除く)が(1)の得点方法に基づいて獲得した点数を合計して対校得点および順位を決定する。対校得点が同じ場合、より上位となった選手が多い大学を上位とする。
- (3)男子の部・女子の部それぞれにおいて、トラック種目、フィールド種目それぞれについて、(2)に基づいて大学ごとの対校得点および順位を決定する。また、男子の部・女子の部それぞれにおいて、大学ごとのトラック種目、フィールド種目すべての対校得点を合計し、総合得点および総合順位を決定する。
- (4)各種目の3位までの入賞者には賞状を授与する。なお、表彰式は行わないため、大会終了後に各大学の代表者は、賞状をTICまで受け取りに来ること。

13. 抗議について

- (1)抗議をする際は、競技規則TR 8に基づき、アナウンスで正式に結果が発表されてから30分以内に、競技者自身または代理人が審判長に口頭で申し出なければならない。
- (2)抗議に対する審判長の裁定を不服とし、上訴する際は、その競技者に代わるチームの代表者による上訴申立書を、預託金(20,000円)を添えて提出しなければならない。この預託金は、上訴が受け入れられなかった場合、没収される。

14. 各書類の配付場所と提出場所について

書類名	配付場所	提出場所
欠場届	TIC	招集所とTIC
重複出場届	TIC	招集所
リレーオーダー用紙	TIC	招集所とTIC
記録証明書	TIC	TIC
上訴申立書	TIC	TIC(要預託金)

15. その他

(1)オープン参加選手は予選ラウンドのみの出場と同等の取り扱いとなるため、走幅跳、三段跳、投てき種目においては、試技回数を2回までとする。

(2)競技場練習については、「申し合わせ事項」を確認すること。

(3)記録証明書の発行を希望する競技者は、300円を持参したうえでTICに申し出ること。

(4)競技結果等は、記録処理終了後に随時、本大会速報サイトで発表を行う。速報サイトについては、福岡教育大学陸上競技部ホームページや本大会のプログラムを確認すること。記録掲示板は設置しないので注意すること。

(5)競技終了後は、すみやかに退場するようにすること。

(6)競技場図は、「申し合わせ事項」に掲載する。

※ 大会運営上の都合により、「競技注意事項」「申し合わせ事項」の内容を変更する場合がある(大会期間中を含む)。

※ 以上の内容以外でも特別に競技役員から指示があった場合は、必ず従うこと。